

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会

設立趣旨(案)

北近畿豊岡自動車道は、豊岡市から丹波市の近畿自動車道敦賀線に至る延長約70kmの高規格幹線道路であり、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路、鳥取豊岡宮津自動車道と一体になってネットワークを形成し、但馬・丹波地域と京阪神都市圏との連携強化により、地域活性化に寄与する重要な道路である。

北近畿豊岡自動車道の北端部である「豊岡道路」については、早期計画決定を行い、北近畿豊岡自動車道の全線の早期完成を望む声が強くなっており、昨年11月に出された道路整備の中期計画（素案）にも位置づけられた。

「豊岡道路」の道路計画の検討においては、「構想段階における市民参画型道路計画プロセスのガイドライン」（H17.9国土交通省道路局）に基づき、計画プロセスの早い段階より市民参画型での検討を実施する。

実施にあたっては、市民などの意見を反映させ、学識者、市民代表、民間団体、兵庫県、豊岡市、及び事業予定者である国土交通省が参画し、北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会を設置して検討する。

懇談会では、「豊岡道路」アンケート結果など事業予定者からの資料をもとに、よりよい「豊岡道路」の計画づくりをめざすものである。